

船橋市教育委員会会議 12月定例会会議録

1. 日 時 平成19年12月20日(木)
開 会 午後2時00分
閉 会 午後3時10分
2. 場 所 教育委員室
3. 出席委員 委 員 長 中 原 美 恵
委員長職務代理者 篠 田 好 造
委 員 村 瀬 光 一
委 員 山 本 雅 章
教 育 長 石 毛 成 昌
4. 出席職員 教育次長 村 瀬 光 生
管理部長 松 本 清
学校教育部長 松 本 文 化
生涯学習部長 中 台 雅 幸
管理部参事兼総務課長 宇 都 和 人
管理部参事兼財務課長 近 藤 恒 裕
学校教育部参事兼学務課長 阿 部 裕
学校教育部参事兼指導課長 石 井 和 明
生涯学習部参事
兼市民文化ホール館長 須 藤 元 夫
保健体育課長 清 水 龍 夫
社会教育課長 高 橋 忠 彦
青少年課長 大 野 栄 一
生涯スポーツ課長 石 井 誠
施設課主幹兼課長補佐 平 野 泰 生
文化課副主幹 岸 本 弘 三
5. 議 題
- 第1 前回会議録の承認
- 第2 報告事項
- (1) 平成19年第4回船橋市議会定例会について
- (2) 平成20年度ふなばし市民大学校について
- (3) 第29回船橋市写真展について
- (4) 市制70周年記念事業チェコ・プラハ管弦楽団演奏会実施の報告
について
- (5) 千葉県体育指導委員研究大会実施の報告について
- (6) 第52回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会について
- (7) 平成20年度職員及び教職員の人事異動方針について

6. 議事の内容

【委員長】

ただいまから教育委員会会議12月定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認についてお諮りいたします。

11月20日に開催いたしました教育委員会会議11月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

それでは、議事に入りますが、報告事項(7)については、船橋市教育委員会会議規則第14条第1項第1号の「任免、賞罰等職員の身分取扱いその他の人事に関する事項」に該当しますので、非公開としたいと思います。ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。当該報告を非公開といたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、報告事項(1)について、管理部、報告願います。

【管理部長】

それでは、平成19年第4回船橋市議会定例会についてご報告いたします。

平成19年第4回船橋市議会定例会の概要についてでございます。

今議会は、11月27日火曜日から12月18日火曜日までの22日間が会期とされ、一昨日、閉会いたしました。

市議会審議日程を順にご報告いたします。資料の1ページをご覧ください。

初めに、27日の開会日には市長から上程議案の説明が行われました。今回、上程された議案の中に教育委員会に関する議案はございませんでした。

次に、12月3日から10日までの土・日を除く5日間で一般質問が行われ、教育委員会の所管する質問の概要については、資料の1ページに掲載しております。

なお、12月5日の教育委員会会議臨時会でご審議いただきました平成19年度船橋

市一般会計補正予算」及び「特別職の職員の給与等に関する条例及び船橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、本議会に追加議案として10日に上程されました。

次に、12日には文教委員会が開催されました。今回は陳情が1件、「海老が作公民館入り口扉の改善に関する陳情」が付託されました。

本件については、同公民館の入り口の両開き式扉が大変重く、自動式に改善を求めるものでございました。

質疑・討論の中で、特にこの地区は、公民館を利用する高齢者の割合が高く、バリアフリーの推進を図る必要がある等々の意見が出され、審査の結果、採択となりました。

次に、13日には予算特別委員会が開かれ、「平成19年度船橋市一般会計補正予算」について質疑、討論が行われました。本件につきましては、人件費の補正ということで、所管する市長事務部局のみが出席する中で質疑が行われ、審査の結果、可決となりました。

18日の最終日には、本会議に上程されましたすべての案件を採決し、教育委員会に関係する「特別職の職員の給与等に関する条例及び船橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」については可決され、文教委員会で採択された陳情については、本会議においても採択となりました。

また、今議会の席上、船橋市議会議長及び議会運営委員長に不信任案が出されました。結果として議長の不信任に対しては否決、議会運営委員長に対しては可決で、辞職となり、新たに日本共産党の岩井友子議員が議会運営委員長となりましたことを申し添えます。

以上で報告を終わります。

【委員長】

ただいまご報告いただきましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

教育長から学校教育関連の一般質問について、特に報告すべきことはございますか。

【教育長】

英語教育に関して、現在のところ、ALTについては委託契約で推進していますが、その委託契約の内容が適切なのかという疑義が、日本共産党の議員から提言されましたので担当課の方でよく研究し、法律的な観点から確認していくという状況でございます。

【委員】

11月の教育委員会会議に上程されました陳情第1号「小学校の英語教育に関する陳情」とは直接関係はないのでしょうか。

【教育長】

似たようなことも出ましたが、陳情第1号とは直接関係はありません。

【委員長】

それでは、よろしいですか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項(2)について、社会教育課、説明願います。

【社会教育課長】

「平成20年度ふなばし市民大学校について」ご報告いたします。

お手元に配付いたしましたのは、平成20年度のふなばし市民大学校の入学案内となっております。

まず、「I. まちづくり学部」についてですが、同学部は授業を通して学んだ知識・技術をもとに、地域活動に参加するコミュニティリーダーの育成を目指しております。同学部のうち、「スポーツ健康学科」が定員40名、「ボランティア学科」が50名、「学びのコーディネーター学科」が定員30名、計120名の定員となっております。

「ボランティア学科」には、一昨年までは夜間の部を設けておりましたが、今年度は設けておりません。これは平成19年度の夜間の部への応募者が少数であったことから、ふなばし市民大学校の運営協議会に諮ったところ、夜間の部の応募者が昼の部へ移行可能であれば、再募集を行わず昼の部で行ったほうがよいという意見があがりました。そこで夜間の部の応募者に伺ったところ、昼の部へ移行することが可能でありましたので移行し、夜間の部を中止いたしました。このことにつきましては、今年度4月の教育委員会会議において、ご報告させていただいております。

また、このことについて本年の運営協議会にお諮りしたところ、平成20年度の募集に当たりましても、やはり募集を見合わせるという結論に至りましたので、今回も「ボランティア学科」の夜間の部については、募集をかけておりません。

理由といたしましては、やはり年々「ボランティア学科」の夜間の部の応募者が少なくなってきたということ、市民大学校の校舎が、市場にあります市川市農業協同組合船

橋市支店に移ったことから、夜間は通いづらいということ、また「ボランティア学科」においても高齢者が増えているということがございますので、今後、募集をかけても応募が見込めないため、当面「ボランティア学科」の夜間の部は募集を控えるということになりました。

次に、「Ⅱ. いきいき学部」についてですが、同学部は学習活動やクラス会活動を通じて高齢者の“生きがづくり”“仲間づくり”を主な目的とした学部です。同学部のうち「一般教養学科」が定員100名、「健康学科」が定員50名の2クラス、「パソコン学科」が定員25名の2クラス、「陶芸学科」で25名の2クラス、「園芸学科」が定員35名の1クラス、計335名の募集定員となっております。2学部あわせて8学科、11クラスで、募集の定員は455名となります。

応募の期間につきましては、表にありますように、1月4日から2月1日までの間でございます。応募方法は返信用封筒を同封し、郵送または市民大学校に直接持参することになります。また、応募者多数の場合は公開抽選により決定し、合否については返信用の封筒で3月中旬に郵送で通知する予定となっております。

以上でございます。

【委員長】

ただ今、ご報告ありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【委員】

昨年の「まちづくり学部」について、男女比率はどのくらいなのでしょう、また、年齢はお幾つぐらいの方がいらっしゃるのでしょうか。

【社会教育課長】

年齢は「スポーツ健康学科」は、平均年齢で男子が58.4歳、女子が54.6歳になっております。「ボランティア学科」は、男子がおおむね62歳、女子も62歳です。「学びのコーディネーター学科」でございますけれども、男子が67歳、女子が57歳となっております。

男女比率は、男43%、女57%という割合です。

【委員】

昔は「スポーツ健康大学」と言っていましたが、相当応募数が多くて、定員をはるかにオーバーしていたと思います。それが高齢化と少子化の影響もあるのかもしれませんが、スポーツ健康大学の倍率が、次第に1倍を切るような状態になってきました。おそらく、今後もこの傾向は続くのではないかと思います、この人数のバランスを、例えば「スポーツ健康学科」を10人減らして、「学びのコーディネーター学科」を10人

増やすというようなことは考えておられるのでしょうか。

【社会教育課長】

「スポーツ健康学科」におきましては、平成16年度から平成18年度までは定員を50名としておりましたが、平成19年度の募集から定員を40名とさせていただいております。募集定員を減員しておりますが、委員のおっしゃるとおり、「スポーツ健康学科」においても倍率が徐々にではございますが、1倍を下回るという状態が続いていることも事実でございます。また、年齢を65歳までに引き上げ、募集の枠を広げているところでございます。

【委員】

「学びのコーディネーター学科」は定員を増やされたのでしょうか。

【社会教育課長】

「学びのコーディネーター学科」は、ここ数年は定員30名で変わっておりません。

【委員】

5年ぐらいのスパンで、倍率が1倍いかないところを少し減員し、1.5倍とか2倍となっているところは、もう希望しても入れない方が出るわけですから少し増員するというようなことを考慮頂きたいと思います。おそらく、教室のスペースや時間の問題、また先生の問題もあることではしょうけれども、できるだけ大勢の希望者が受講できるようお願いいたします。

【社会教育課長】

先ほど申しましたように、「まちづくり学部」と「いきいき学部」はそれぞれ目的が異なっております。「いきいき学部」は“生きがいつくり”“仲間づくり”ということを中心に、高齢者を対象に行なっております。こちらの方は、学びを通じて生きがいつくりを進めるということで基本的に倍率が高くなりますが、「まちづくり学部」は、意図的にその地域のリーダーを育てたい、また地域の教育力の向上を図るという目的もございまして、人数にとらわれず進めていきたいと考えているところです。

【委員】

今の意見に賛成で、定員の割合をうまく補正して利用しやすいようにしていければいいと思います。

【委員】

2つの学部それぞれにねらいがあって、市民の力で盛り立てていければ一番理想的だと思いますが、コーディネーターの方たちに、世代交代してしっかり力をつけていただくことと、それから広がるということとの両立が多分一番難しいところだと思います。そのあたりについて、これまでどんな形で検討や工夫が進められてきたのか、教えていただけませんか。

【社会教育課長】

コーディネーターが卒業しますと、コーディネーター連絡協議会がございますので、前年度は全員がそこに加入していると聞いています。この連絡協議会はブロックに分かれておりまして、ブロックごとや個々のコーディネーターに公民館の講座等の企画運営を一緒に推進していただいたり、社会教育課とともに事業を展開しているところでございます。今後も、より一層の工夫をしていきたいと考えております。

【委員】

そうですね。なかなか両立というのは難しいところだと思います。ただ、皆さんが、ご自分の力を次につなげていきたいと思っていただけているのがとても嬉しく思いますし、是非市の力にしていければと思いますので、お願いしたいと思います。

【委員長】

他に何かご意見やご質問はございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、続きまして報告事項（3）について、文化課、報告をお願いします。

【文化課副主幹】

資料は3ページです。

報告事項（3）、市制施行70周年記念で実施いたします「第29回船橋市写真展について」ご説明いたします。

船橋市写真展は、市民のアマチュア写真愛好家の発表の場として開催するもので、期間は来年、平成20年1月18日から27日まで、市民ギャラリーで行ないます。

お手元の開催要項にもございますように、部門はモノクロ単写真の部、組写真の部、カラー単写真の部の3部門で募集をいたします。

題材・テーマは自由といたします。

審査員はプロの写真家である尾仲浩二氏と写真評論家の林誠治氏です。

主催は船橋市教育委員会と船橋市写真連盟で行います。よろしく願いいたします。

続きまして、以前に「子供俳句」についてご説明いたしましたが、作品集が刊行されましたので、お手元にお配りしました。子供たちの作品を是非ご覧いただきたいと思えます。

以上でございます。

【委員長】

ただ今、ご報告がありました。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【委員】

写真についてはあまり詳しくないのですが、「単写真」と「組写真」というのはどういうものなのでしょうか。

【生涯学習部長】

「単写真」というのは、例えば、お祭りの風景を撮影するときに、1枚だけ撮影したものをいいます。「組写真」というのは、同じ写材の角度を変えて何枚か撮影したものをいいます。「お祭り」というテーマを同じにしながら、連動して出すのを「組写真」と言っております。

【委員】

それで組写真の方は横120cmで縦150cm以内であれば、パネルにして提出してよいということですね。

【委員長】

他にご意見やご質問はいかがですか。

【各委員】

なし。

【委員長】

では、続きまして、報告事項（4）について市民文化ホール、報告をお願いします。

【市民文化ホール館長】

12月1日に市民文化ホールで開催されました、市制70周年記念事業のチェコ・プ

ラハ管弦楽団演奏会について、ご報告をいたします。

資料は、当日のプログラムと新聞記事でございます。

指揮武藤英明氏によりますチェコ・プラハ管弦楽団、チェロがスーシェンコ、ヴァイオリンがアナスタシアというロシアのソリストを迎えましての演奏会でした。

入場者は1,022人、定員が1,100ですから、ほぼ満員でした。教育長、両副市長にもご来場いただきました。

プログラムにあります4曲が演奏されたわけですが、その演奏終了後に湧き起こったアンコールの時には、武藤氏から「船橋にはたくさんの音楽団体がありますが、その方々と70周年をお祝いして合同で演奏することにしました」と紹介があり、船橋フィルハーモニー管弦楽団や船橋吹奏楽団、船橋ジュニアオーケストラなどの市民でつくる5団体からの選抜メンバー46名がチェコ・プラハ管弦楽団に加わりまして、スメタナの「モルダウ」とドボルザークの「スラブ舞曲」の大合奏が行われました。予告なしでのパフォーマンスでしたので、会場からは驚きの声、大きな拍手、そして称賛の声をたくさんいただきました。

お手元の新聞など幾つかの新聞で紹介されましたが、11月28日に武藤氏とチェコ・プラハ管弦楽団員5名が小栗原小学校を訪問しました。ヴァイオリンとビオラ、クラリネット、オーボエ、ホルンの5名が、小栗原小学校の合奏部約50名の中に入り、「剣の舞」他4曲を演奏してくれました。教育長もおいでになりましたが、4年生から6年生の全児童、それからPTA等の地域の方々に前に堂々とした演奏でした。合奏部の子供たちにとりましては、超一流のプロとの合同演奏なので、一生の財産になったのではないかと思います。

楽団員の皆さんは、実はオフの日だったのですが、善意で来て下さいました。子供と一緒に給食を召し上がり、サインをねだられ、一緒に写真を撮るなど、楽団員の方々に楽しんでいただけたように思っております。

また、この関連で「武藤英明に学ぶ指揮者講座」というものを4月、7月、9月、12月の4日間開催をいたしました。参加者60名で、なかなか計画ができない試みであると思いますが、充実した形で実施することができました。市制70周年記念事業ということで一連のものを実施いたしました。

以上、報告させていただきます。

【委員】

本当に市民にとって貴重な機会を提供していただいて、こうした体験そのものが心に残るものになっていくのではないかと、今の報告を伺いながら思いました。

【委員長】

何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

【委員】

70周年記念事業ということで、この前のバスケットボールの交流事業もそうですが、今回の音楽のプロとの交流は、子供たちにとって思い出になりますし、前にも申し上げたように本物を見るということはとても貴重な体験ですので、70周年だけでなく、なるべくこのような機会を提供していただきたいと思います。

【委員】

サプライズのことについて伺いますが、このご提案は武藤氏からいただいたのですか。

【市民文化ホール館長】

はい、そうです。

通常、プロの楽団の演奏会で突然他の人が加わるのは、賛否両論ありまして、「チェコ・プラハ管弦楽団の演奏会に来たのに、なぜ素人が出てくるんだ」という批判を懸念しておりましたが、結果として、そういうことはありませんでした。武藤氏から「船橋市で活動しているアマチュアの人たちの活躍を知っているから、是非一緒に演奏したい」とおっしゃっていただけました。チェコ・プラハ管弦楽団員の皆様方には、武藤氏が、その意向を伝えて了承を得られたものでございます。

【委員】

やはり何か思いがあって、それがつながって1つの事業になっていくというのは、すごく大切なことだと思いますね。

【委員長】

他に何かございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、続きまして、報告事項（5）及び報告事項（6）について、生涯スポーツ課から報告願います。

【生涯スポーツ課長】

それでは、報告事項（5）「千葉県体育指導委員研究大会実施の報告について」ご報告いたします。

資料の7ページから9ページに写真を掲載しております。

12月2日に運動公園の体育館で、千葉県下の体育指導員約1,000名を集めて研究大会を開催いたしました。この大会は船橋市で19年ぶりの開催でございました。

当日は指導員の功労者表彰を終えた後、荻原健司さんにご講演いただきました。その後、歓迎の集いということで、法田中学校にマーチング演奏をご披露いただきました。これにつきましては、県内各郡市からお集まりいただきました体育指導員の皆さんから、心から感動をして、すばらしいという称賛をいただきました。本当にすばらしい演奏で拍手が鳴りやまず、大成功のうちに大会を終了しました。

報告事項（5）については以上でございます。

次に、報告事項（6）「第52回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会について」報告いたします。昨年と同じく、運動公園をスタートしてアリーナをゴールとするコースで、6区間にわたりタスキをつなぐロードレースになります。

現在のところ、「高校」が7チーム、「一般」が37チーム、「中学」につきましては1月4日まで申し込みを受け付けておりますが、前年の実績からすると30チーム程度がエントリーされる予定でございます。

当日、1月13日に良い天気になることを期待しております。

委員の皆様方にも、是非ご声援いただければありがたいと思います。

以上でございます。

【委員長】

ただいまご報告がありました2件について、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

【委員】

マラソンや駅伝では、心臓の病気などで急変したりする方もいますが、そうした場合にサポート態勢はどうなっていますか。

【生涯スポーツ課長】

当日は、救急車が伴走すると同時に、3台の救護車にAEDを積載し、各々救護員の配置をいたしました。

【委員】

以前は花火大会のときなどに、市役所から医師会へ依頼があるかもしれないという通知がありましたが、今はどのようになっていますか。我々医師会の方としては、通知があってもどういうふうに出ていっているのか分からないというふうな話がありますけれども。

【生涯スポーツ課長】

当日は現在のところ、警察と体育指導員、それと陸上競技連盟の方々、体育指導員は全員がAEDの研修を受けておりますので、救急救命関係を任せられると思います。また、看護師も複数名配置をいたしまして、万全を期してまいりたいと考えております。医師会等へのご協力については、すみませんが承知してございません。

【委員】

駅伝大会についても、多くの方が参加される事業ですから、いつもスタッフが気を張りながら進めて下さっていると思いますが、緊急時にいろいろとお力を借りられるように、万全を期すことがとても大事だなと思います。

船橋市には体育指導員が何名ぐらいいらっしゃるんですか。

【生涯スポーツ課長】

現在200名でございます。今のところ当日は120名に参画をしてもらう予定です。若干人数が足りないので、追加のお願いをしておりますが、実際にはコースに140名ぐらいの体育指導員を配置できるかと思えます。

以上です。

【委員】

年齢は、どのぐらいの方がいらっしゃいますか。

【生涯スポーツ課長】

年齢につきましては、定年制がございませんので、中には70歳代の方もいらっしゃいますが、皆さん健康には自信がある方で、地域の方の指導員にもなりますので、その辺は十分な力量と体力を持った方であると思っております。

ちなみに、今年の3月で任期満了となりますので、4月からはまた人選を考えております。

以上でございます。

【委員長】

他にご質問などよろしいですか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、先ほど非公開と決しました報告事項（7）に入りますので、関係職員以外の方は退席をお願いします。

(関係職員以外退席)

【委員長】

それでは、報告事項（7）について、総務課、学務課、続けて報告願います。

報告事項（7）「平成20年度職員及び教職員の人事異動方針について」、総務課長及び学務課長から報告された。

【委員長】

では、職員を入場させてください。

(職員入場)

【委員長】

これで本日予定しておりました報告の内容はすべて報告いただきましたが、他にございませんでしょうか。

【青少年課長】

1点だけ連絡事項がございます。今年8月、市制70周年事業として実施いたしました第5回船橋少年の船事業でございますが、千葉テレビの正月番組であります「テレビ広報ふなばしだより」で紹介されることになりました。15分番組ですが、内容といたしましては、冒頭市長の年頭のごあいさつがあり、その後、司会者の質問に今回参加されたリーダー、佐藤亜弓さんという大学3年生の方、前回10年前に第4回の少年の船に団員として参加された人ですが、その人と、今回運営本部の副本部長を務めた富田由美子さん、このお二人が司会者の質問に答える形で船内の共同生活の様子とか、中国上海での交流の様様、それを紹介する内容になっております。

きょう、千葉テレビのスタジオで収録をしたばかりでございます。なかなか2人ともプロ顔負けの出来栄だったと報告を受けております。是非委員の皆様方にもご覧になっていただきたいと思っております。番組の放映日は1月1日元旦と、1月6日の日曜日、正午から15分、正午放映開始ということでございますので、ぜひご覧になっていただき

たいと思います。

以上でございます。

【委員】

正月に取り上げていただけるというのは、なかなかよかったですね。市民の皆さんにも見ていただければいいと思います。

【委員長】

ほかにはいかがですか。

【各委員】

なし。

【委員長】

では、これで教育委員会会議12月定例会を閉会いたします。

どうぞよいお年をお迎えください。